

議会だより

議長に小渕茂昭 議員を選出 副議長に山本良一

新しい議会構成決まる



山本良一
副議長

小渕茂昭
議長

就任にあたり 町議会議長 小渕茂昭

改選後の臨時議会において議会議長に選任いただき、重責を痛感しています。職責を汚さず負託に対し忠実に勤め、議会運営に邁進してまいります。

さて、今議会は議員定数2名減の14名での構成となります。個々の責務も増大する状況にあり、意識の位置付けも変革を求められていると考えています。

過日、議会運営委員会に対し議長諮問書を提出しました。開かれた議会のあり方とはどうあるべきか、議会報告会の見直し、適正な議員報酬・子ども議会の開催・クリーン選挙についてなどが課題です。

住民各位のご意見ご指摘をいただき、議会運営に活かしてまいりますので、議会活動により一層のご協力をお願い申し上げます。

第101号
平成27年7月23日
(2015)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 小渕茂昭
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101 (有)2020
E-mail

gikai@town.yamanouchi.nagano.jp
議会ホームページは
「山ノ内町議会」で検索!!

もくじ

- 議長あいさつ・議会構成……………16
- 6月臨時会・定例会関連記事……………17
- 一般質問内容……………19
- 議会活性化を諮問・議会全員協議会……………25
- 管内視察……………26
- みなさんからの請願・陳情……………28
- 新人議員紹介・編集後記……………29

山ノ内町議会委員会等名簿

◎委員長 ○副委員長
(平成27年6月1日現在)

委員会名	所管	委員
常任委員会	議会・総務課・税務課・消防課・会計室・選挙管理委員会・監査委員・農林課・観光商工課・農業委員会・建設水道課に関する事項	◎西 宗亮 ○湯本 晴彦 高山 祐一 高田 佳久 徳竹 栄子 小林 克彦 小渕 茂昭
	健康福祉課・教育委員会に関する事項	◎渡辺 正男 ○小林 民夫 山本 光俊 布施谷裕泉 望月 貞明 児玉 信治 山本 良一
	議会だより・議会ホームページの編集に関する事項	◎高山 祐一 ○山本 光俊 小林 民夫 湯本 晴彦 布施谷裕泉 渡辺 正男
議会運営	議会運営・議会会議規則等・議長諮問に関する事項	◎高田 佳久 ○山本 光俊 小林 民夫 西 宗亮 高山 祐一 渡辺 正男
議会選出監査委員	児玉 信治	
議会選出農業委員	徳竹 栄子	
北信広域連合議会議員	小渕 茂昭 山本 良一 渡辺 正男	
北信保健衛生施設組合議会議員	小渕 茂昭 山本 良一 渡辺 正男	
岳南広域消防組合議会議員	小渕 茂昭 山本 良一 西 宗亮	

26年度町道除雪過去最高の3億2千万円に

6月1日、4月の町議会議員改選後初となる平成27年第2回山ノ内町議会臨時会が開催されました。

議長、副議長の選挙を行い、常任委員会、議会運営委員会の構成を決定しました。

また、町側から提案のあった専決処分の報告2件、26年度一般会計ほか各会計補正予算、条例の一部改正の専決処分の承認3件をそれぞれ受理、承認しました。

議長・副議長選挙結果

新しい議会の議長・副議長を決める選挙は、無記名投票で行いました。結果は左記の通りです。

議長選挙開票結果

小淵茂昭 10票
徳竹栄子 2票
無効 2票

副議長選挙開票結果

山本良一 8票
渡辺正男 3票
無効 3票



町道除雪費はこれまでの最高額を約8千万円上回る3億2千万円に

議員定数減により 常任委員会を再編

議員定数を16人から14人に削減したことから、4常任委員会を3常任委員会に再編し、委員定数も一部変更しました。

旧総務常任委員会と旧観光経済常任委員会を統合。名称を「総務産業常任委員会」とし、委員定数を7人としました。

社会文教常任委員会の委員定数を6人から7人としました。

議会運営委員会の定数については、7人から6人に変更しました。

専決報告

平成26年度一般会計予算の繰越報告

プレミアム付商品券発行2,200万円などを含む総額1億200万円余を繰り越しました。

専決承認

平成26年度一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出それぞれ8,133万3千円を減額し、歳入歳出予算の総額を67億7,821万2千円とするもので、事業の精算などを主とする最終補正です。

〈歳入の主なもの〉

特別交付税

1億5,550万円

町道除雪費国庫補助金

4,100万円

ふるさと納税

1,499万円

財政調整基金繰入金

△2億1,385万円

〈歳出の主なもの〉

ふるさと基金元金積立金

1,101万円

特定既存耐震不適格建築物耐震化

△1,443万円

町道除雪

1,092万円

消防団員退職報償

247万円

平成27年第3回山ノ内町議会定例会

「新教育長」佐々木正明氏の任命に同意



佐々木 正明 (65歳) 宇木

(任期は27年7月1日から30年6月30日)
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が平成27年4月1日から施行されたことによる委員辞職に伴う任命です。

新教育委員会制度での教育委員長と教育長を統合した「新教育長」となります。

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

倉 並 一 良 (75歳) 湯河原

(任期は27年6月17日から30年6月16日)

人権擁護委員の候補者の推薦を議決

湯 本 栄 子 (63歳) 渋

(任期は法務大臣委嘱の日から3年)

組織条例の一部改正 ユネスコエコパーク推進室を新設

平成27年第3回山ノ内町議会定例会は、6月12日から29日までの18日間にわたって開催されました。

今議会には、町側から報告3件、専決処分の報告3件、人事案3件、条例の一部改正1件、工事請負契約の締結3件、27年度一般会計補正予算(第1号)(第2号)、介護保険特別会計補正予算(第1号)、水道事業会計補正予算(第1号)が提案され、原案通り受理、同意、可決しました。議会側からは、議会会議規則の一部改正を提案し、可決しました。

一般質問には、議長を除く13人全員が登壇し、人口減対策、産業振興、第5次総合計画後期計画、ユネスコエコパーク活用、小学校適正配置などでの町の方針を質しました。

工事請負契約の締結

学校給食センター改修工事

(1) 契約金額

9,331万2千円

(2) 契約の相手方

平穩土建株式会社

(3) 落札率 91・55%

東小学校屋内運動場天井耐震改修工事

(1) 契約金額

7,830万円

(2) 契約の相手方

株式会社守谷商会

(3) 落札率 96・44%

山ノ内中学校体育館改修工事

(1) 契約金額

1億670万4千円

(2) 契約の相手方

北野建設株式会社

(3) 落札率 97・59%

*金額は消費税を含みます。

条例改正

組織条例の一部改正

観光商工課に「ユネスコエコパーク推進室」を設置するものです。

放棄した私債権の報告

- (1) 私債権の名称
水道料金
- (2) 私債権の額
2,973万円余
- (3) 私債権の件数
211件(債務者5名)
- (4) 放棄の理由
破産・倒産

27年度一般会計補正予算(第1号)

1億9千万円余を「肉付け」

歳入歳出それぞれ1億9,324万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を66億2,924万9千円とするものです。

〈歳入の主なもの〉

介護保険低所得者保険料負担軽減負担金(国・県) 210万円

外国人旅行者受入環境整備事業補助金(県補助) 1,500万円

ふるさと寄附金(納税) 6,500万円

財政調整基金繰入金 5,995万円

町債 5,760万円

ふるさと寄附金特典品 2,091万円

定住促進住宅建築工事等支援補助金 400万円

空き家財道具等処分補助金(新規) 20万円

ふるさと基金元金積立金 3,700万円

防犯灯設置補助 300万円

保育園大規模改修 2,100万円

廃プラスチック処理委託 100万円

農産物購入 938万円

農業経営緊急対策事業(灯油代補助) 100万円

外国人旅行者受入環境整備事業補助金(無線LAN) 1,500万円

町エコツアー実行委員会負担金 140万円

楓の湯周辺整備 900万円

空中写真撮影業務委託 500万円

防火水槽建設 600万円

消防ポンプ車(3台) 1,020万円

防災無線デジタル化 200万円

空き店舗等活用事業補助金 250万円

外国人旅行者受入環境整備事業補助金(無線LAN) 1,500万円

町エコツアー実行委員会負担金 140万円

楓の湯周辺整備 900万円

空中写真撮影業務委託 500万円

防火水槽建設 600万円

消防ポンプ車(3台) 1,020万円

防災無線デジタル化 200万円

小澤コンサート30回記念 167万円

学校給食協議会補助金 250万円

浄水場施設維持管理補助金 500万円

低所得者介護保険料軽減 280万円

平成27年度一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ1,064万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を66億3,989万1千円とするものです。

国からのユネスコエコパーク推進費委託金300万円と財政調整基金繰入金764万2千円を、新設のユネスコエコパーク推進室の人員費、事業費等に充当する内容です。



小学校に導入されたタブレット端末でユネスコエコパークの学習(7月7日)

後期計画の中でスポーツ施設整備に どう取り組むか

渡辺 正男



教育長 社会体育館は、耐震不足、老朽化から使用停止している。撤去には多額の費用がかかる。後期基本計画の中で検討していく。

質問 10年前の第4次後期計画では「社会体育館に代わる屋内体育館の建設に向けた準備を進めます」、5年前の第5次前期計画では「新たな社会体育館建設の検討を進めます」となっていた。どう進めてきたか。

教育長 なかなか進んでいないという事は事実。重く受けとめていきたい。

質問 「進んでいない」ではなく、「進めていない」が正確。主体性を持って、町長部局と話し合いながら、しかるべき組織で検討していくのが本来ではないか。

教育長 総合教育会議が新設されるので、その中で教育委員会と町長部局が検討していくものと考えている。

質問 庁内の公共施設検討会議が4年以上開かれていない現状をどう考えるか。

町長 体育館の解体費用、レッドゾーン指定の問題、本郷区との協定など諸課題があり、簡単にはいかない。担当の副町長には、他の公共施設整備も含め、できるだけ早めに整理・検討するように指示した。

質問 後期計画策定の中で検討することになるが、審議会には町としての原案を示して検討いただくのか。

総務課長 検討会議を合わせて開催し、審議会には提案したい。ただ、細かい部分まで示せるか分からない。検討させていただきたい。

その他の質問
○小学校の統廃合
○マイナンバー制度



使用停止から10年が経過した社会体育館

ユネスコエコパーク のさらなる活用を

児玉 信治



質問 町民のみなさまへの理念の徹底をどのように図るのか。

総務課長 広報誌や新聞各社にユネスコエコパークにかかる記事などを掲載し情報発信を行うとともに、町職員においてもすでに研修会を開催し、エコパークへの理解、意識の醸成を図っている。今後は、町民のみなさまを対象とした説明会を開催し、理解、周知を図っていききたい。

ロゴマークの積極的な活用を



ロゴマークの積極的な活用を

質問 ロゴマークの積極的な活用を。

総務課長 4月から運用している。観光パンフレットやポスター、名刺等に使用する。農産物の梱包用段ボールにもロゴマークを使用し、産地保証と合わせて認知度を高める取り組みを進めている。今後も、マークを積極的に活用し、志賀高原ユネスコエコパークの認知度向上にも努めていきたい。

質問 町内、各地区へ景観条例の積極的なアピールを。

町長 条例を策定し、補助

制度も設け予算化し、説明会も行つたがまだ住民協定には至ってはいない。

建設水道課長 平成24年に町が景観行政団体となり景観計画を策定した。町の広報やホームページに内容を掲載したり、区長会や地域の会合に出向き説明しているが、残念ながら現在、協定に至つた地域はない。昨年より協定に向け研究を始めた地域もあるので、期待している。引き続き、広報による周知や地域の会合などに出向き説明を行っていききたい。

プレミアム付商品券の有効活用を

高山 祐一



質問 購入対象者の町内、町外の割合は。

観光商工課長 町内7割、町外3割だが、柔軟に対応する。

質問 町民、商店、宿泊業者のメリットは何か。

観光商工課長 町民は、消費者としての生活支援40%のプレミアム分が得になる効果が、商店にとっては、町外に流れがちな消費が町内に戻る効果が、宿泊業者にとっては、商品券を機に宿泊客が増える効果が見込まれる。

質問 子育て世代、障害者に有利な施策をとっている市町村もあるが検討したか。

観光商工課長 1冊5,000円で1人2セットまで購入可というところで、幅広い世帯に購入してもらいたい。

質問 飯山市は1人100万円、中野市は30万円とい

う高額限度額だが。

観光商工課長 当初から限度額が何十万円というのは好ましくない、という指導があった。前回の実施時に、不適切な使用があったことも考慮した。

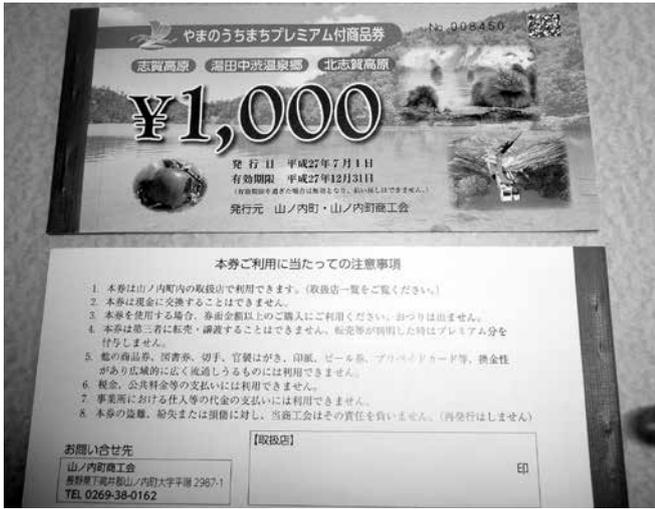
質問 角間川は20年以上河床整備が行われていないが。

建設水道課長 そんなに長期間手が入ってないとは知らなかった。建設事務所に

今後とも要望していく。

質問 「空き家対策特別措置法」が5月26日に施行されたが、その対応は。

建設水道課長 安全上、衛生上、住環境上、著しく影響をおよぼす恐れのある空き家は「特定空き家」に指定し、場合によっては撤去命令や代執行が可能になる。今後は必要な条例整備を進める。



発行されたプレミアム付商品券

好環境を捉えて

小林 克彦



『だから旨い』清流育ち

質問 国・県の政策や、今後波及効果が期待できる大手・中堅企業が堅調で、景気回復の環境は整ってきている。町税課税所得の状況は。

税務課長 対前年比で農業所得が112・84%、営業所得が107・04%、給与所得が99・22%、全体では100・55%。

質問 農業の伸びが大きい要因は何か。

農林課長 新規就農者の増加、ぶどう・りんご等の新品种の生産増、ブランド化推進によると推測している。

質問 進めてきた施策に間違いなかった結果と言えるが、今後課題はないか。

農林課長 市場からより多くの出荷を求められていることや産地競争力を確保するために、担い手の育成・後継者の確保が重要。

質問 観光の状況は。

観光商工課長 前年比で客数が約10万人減の459万3千人、消費額は249億7千万円で若干の減少。外国の方は2万8千人で増加傾向にある。

質問 統計から消費単価はピーク時も現在も約5,500円でほぼ変わりがなく、客数と消費単価の二つの減少が問題とされてきたはず。

観光商工課長 消費単価の分析は今のところしていない。

質問 観光も農業も数年先を予測すると担い手・後継者の不足による産業力の低下が最も重要な問題である。

町長 観光・農業の振興は他にも通じることであり、重要と考え取り組みたい。

質問 副町長が責任者となり、ワンストップ体制で進めることを強く要望する。

副町長 山ノ内独自モデルを知恵を絞って発信したい。

有害鳥獣補殺後の解体所を



西 宗 亮

【質問】 有害鳥獣を補殺した後の解体場所は現在どこにあるのか。

【農林課長】 現在特定されている場所はなく、町としても適当な場所を探しているところである。

【質問】 平穏共選所近くの加工所は現在使用されていない。解体場所として設備的にも適当でないか。関係者と協議して課題の解決に向けて取り組むよう提案する。

【質問】 申請者が多かったため4月末に行われた農業機械等購入補助の抽選で7件が落選したようだが、当町の基幹産業を担う専業農業者へ救済の手を差し伸べるべきではないか。

【農林課長】 救済制度は特にないことを理解してほしい。今後については、要望等を把握する中で、必要に応じ財政サイドと協議のうえ補

正予算も検討していきたい。

【質問】 空き家対策の特別措置法が完全施行となり、国からガイドラインも示された。今後、町内の現状を精査し、特定空き家対策に取り組むべきである。

【総務課長】 特定空き家の状況の把握と指定、また、固定資産税特例の除外など総合的に判断し、所有者の義務も含め条例制定に向けて

検討していきたい。

【質問】 ゼミ活動で来町される大学准教授との話で、今はWi-Fiを利活用しての情報提供が誘客やCS度アップに有効と提言をいただいた。大学との観光連携事業は効果をだしていくべき

【町長】 Wi-Fi設置の件では、県が早速予算を付けてくれた。情報提供体制手段も研究していきたい。



使用されていない平穏共選所近くの加工所

今こそ次世代のビジョンを描く姿勢を

湯 本 晴 彦



ABMORIも長期的な視野での発展が期待される

【質問】 町の主幹産業である観光と農業はどうしても季節労働が多いのが現状。この季節変動があると社会保険も含めた正規雇用につながるという観点での考えは、

【町長】 産業だけではなく、福祉や教育の充実も一方では進めていかなければならない。若者定住重点アクションプランは3年前から進めている。県の移住・定住の説明会も参加しPRした。

【質問】 通年雇用をするためには、オフシーズン、特に春先から7月中旬までの魅力づくりが大事ではないか。

【町長】 通年で誘客できるように、いろいろな時期にいろいろな皆さんが大勢来ていただくようにPRしていきたい。

【質問】 働き手を増やす考えとしても、外国人定住者・労働者の受入れを検討してみているか。

【観光商工課長】 韓国の方がユネスコエコパークの関係で視察に来た。私も言葉が全く分からなく、今後外国語対応ができる職員な

どを配置していく必要もあると感じている。

【質問】 子育てするなら山ノ内だと言える強烈なインパクトのある方針は。

【教育長】 スキーは県外からも山ノ内の学校でという話も来ている。ユネスコスクール、ESD（持続可能な開発のための教育）は目玉になる。また外国語活動、英語教育は先進的に取り組んでいる。この町で生まれ育った子供たちが誇りを持てるようにしたい。

その他の質問

- 町の将来ビジョン
- 副町長の役割

新電力、自家発電の活用で電力料金のコストダウンを

望月 貞明



質問 町の年間電力料金と使用量が多い施設は。

総務課長 26年度の総額は約6,306万円。1番が

水質浄化センターで約1,

518万円、2番は志賀高

原98会館で約777万円。

質問 電力料金の仕組みは。

総務課長 個々の施設ごと

に、30分間の最高使用電力

(ピーク電力)でその後、

1年間の基本料金が決まる。

質問 ピーク電力を下げる

ために、ピーク時の補助電

源と非常用電源を兼ねた自

家発電装置の導入を。

総務課長 役場庁舎は本年

度予算で非常時に備える発

電装置導入を検討する。

質問 他市には、新電力を

活用して4%の料金削減の

事例があるが導入は。

総務課長 新電力を導入し

た市を参考に検討したい。

質問 国勢調査では、25

34歳の未婚率が年々上昇し

晩婚化が進んでいる。未婚

の理由に出会いの場が少ない、

婚活しないが多い。異

性との接し方を学ぶセミナ

ー開催など婚活支援を。

町長 結婚は人生の潤いや

人口対策で社会的にも大事

今後、積極的に支援する。

健康福祉課長 異性との気

軽な会話を目的のセミナー

や受講者の交流イベントを

開催する。6市町村合同の

出会いイベントも実施予定。

質問 夜間瀬川左岸の堤防

上の道路は狭く、冬季は雪

で河川敷と道路との境界が

分からない。防護柵設置な

どの安全対策が必要だ。

建設水道課長 河川法で堤

防工事は、強化か流下断面

不変が原則。堤防を弱める

防護柵の基礎の掘削設置は

できない。冬、道路の境界

に竹竿を立てる対策は可能。



役場庁舎の年間電力料金は約598万円で3番目

トップセールスの今後の方針は

山本 光俊



町長 ユネスコエコパーク

やスノーモンキー、果物を

中心に町の魅力を県や観光

連盟などと協力し発信する。

質問 トップセールスの情

報収集についての考えは。

町長 積極的にご提案いた

だき、選択し対応したい。

質問 志賀高原ユネスコエ

コパーク核心・緩衝地域の

遊歩道整備の今後の方針は。

観光商工課長 関係団体と

環境省と整備を進めている。

質問 抜本的な改修が必要

と考えるが。

観光商工課長 関係各位と



ユネスコエコパーク核心エリア内の荒廃した木道

の協議、環境省の指導など

をもとに整備を進めたい。

質問 その他の総合的な環

境整備も必要だと思うが。

町長 県の観光部長より補

助金の具体的な話もいた

いた。柳澤副町長と県のパ

イプを大事にしながら積極

的に整備していきたい。

質問 自然保護センターガ

イド組合増員支援の考えは。

町長 増員や拡充は大切と

感じているが、通年雇用で

きるか等、観光商工課内で

検討し、自然保護センター

関係者と協議していきたい。

助成制度を把握しているか。

町長 費用面の制約からバ

スツアーが減少していると

聞いており、対応を県や県

知事へ要望している。

質問 この制度が構築され

る前に事前に知り得る機会

はなかったか。

観光商工課長 改定にあ

たり調査を行うとの連絡はあ

ったが、助成制度を創設す

る話はなく、要望を上げる

機会はなかった。

質問 町独自の助成制度は。

観光商工課長 県や他市町

村の状況を注視し対応策を

ABMORI事業の町費縮減を



徳 竹 栄 子

町長 町費は確かに多いが、寄附金、県の特別交付税・森林税などを活用している。

質問 去年の旧前山スキー場には、現地にない樹種で17種8千本が植樹され、ひと冬で3割程度折れていた。これで良いのか。

町長 「いろいろな多く植え淘汰され残った木が育つ」というものだったが、今年東小の環境教育として現地の苗木を採取し植樹する。

質問 今年の植樹場所の旧笠岳スキー場に実生から育ち自生しているコメツガ、ダケカンバの幼木をわざわざ掘り起こし、大型機械で表土ごと削り新たに植樹するのは理解できない。

町長 管理用に重機が通る場所の幼木を移植しており、気持ちは分かるが経費の節減、子供たちの環境教育の面から理解願いたい。

質問 町実施計画事業方針

には、国立公園に配慮し、地元種子の育成と周知を図り経費縮減を図ると明記されている。今後の考えは。

町長 事業趣旨を逸脱しないよう努めていく。

質問 貸切バス制度改正への対応

町長 この改正は観光事業者の死活問題。北信広域エリア首長と連携し、一体となつて県にバスツアー助成制度の改善、新設の要望を。

質問 観光連盟の新しい体制の中検討したい。

町長 副町長とも連携しながら対応したい。

質問 新幹線による早朝・夜行スキー専用列車の運行や地域フリーパスなど、新しい交通手段も広域観光として提言をしてほしい。

町長 精いっぱい対応する。

質問 観光事業者の皆さんの悲痛な声を聞いてほしい。

町長 観光連盟の新しい体制の中検討したい。



実生から自生しているダケカンバの旧ゲレンデ

人口消滅可能性と地域創生が目指すものは

山本良一



質問 人口消滅可能性地域の指摘をどう捉えているか。

町長 指摘を受けたときは衝撃を受けたが、今は地域創生でそれぞれの地域が、頑張る時代に来ている。合併は別として（地域が）消滅するとは考えていない。ただし楽観視しているわけではない。

質問 行政としての具体的な対応策は考えているか。

町長 恵まれた自然を生かし、自信と誇りを持てる郷土をスローガンに、人口減

少対策、産業振興に町として積極的にいかかわり、福祉教育の充実などの確な施策を講じる。

質問 地域創生「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目的は。

総務課長 人口減少をストップさせ町を元気にするためにには町に暮らしてみたい魅力作りが必要で、総合的な取り組みが不可欠。そのため中長期を見通した山ノ内版人口ビジョンと5か年の総合戦略を策定し実行に移す。

質問 地方創生ビジョンが策定され、その成績次第で

交付税に優劣をつけるというのが、国の財政対策ではないかと思うが。

町長（立場上）コメントしづらい。どうしても国があり、県があつて、市町村があるという中では交付税や補助金に縛られている面がある。町民の一人としても首長としても注視していく必要はあるが、私自身も意識改革し、この町が存続できよう頑張るのが自治体の責務と考えている。

その他の質問

○新幹線と産業振興

○小学校適正規模適正配置



この町に住んで良かったと実感できる町になれるか？

温泉場の夜の楽しみに歌謡劇場を



小林 民夫

質問 山ノ内には、現在、これといった夜の娯楽がない。もし夜の娯楽があった場合の効果は。

観光商工課長 その点について議員の方から教えていただけないか。

質問 まず近在の日帰り温泉と一線を画せるだろう。次に泊まったお客さんが宿から外へ出て町を歩きお金を使うかもしれない。また、一泊のお客さんが二泊するという期待もできる。更にその娯楽がフランスのシャソンのようにその国に固有のものであれば外国人旅行者の強力な誘因になる。夜の娯楽を何かやろうという気になってこないか。

観光商工課長 一部の旅館では宴会の際に太鼓演奏や餅つきなどを実施しており個々の創意工夫でよいのではないかと…。

質問 それは旅館の振興策だ。温泉地の振興策ではない。ここで提案したい。日本固有の歌曲である演歌とJポップの唄と踊りのショーが楽しめる歌謡劇場をやってみてどうか。歌手も踊り手も付属の芸能スクールで養成する仕組みだ。

町長 過去に山ノ内が辿ってきた道などお聞きした。芸妓組合に補助金を出して湯女^{ユメメ}追い太鼓の演奏者も養成した。

質問 山ノ内独自というなら、コカリナの演奏なども入れたら良い。とにかく温泉場にお客さんを引く魅力を創るべきだ。

成した。個々の旅館ではジャズをやったり演歌歌手を招いてのショーもあった。民謡酒場も聞いたことがある。こういったものは、山ノ内独自のものでなければならぬと思う。



演歌舞踊は町の文化祭でも大人気

森林の有する多面的機能が発揮されるよう林道整備を

高田 佳久



北信州森林組合による五輪団地森林整備の現地説明会

うべき。さらに町負担を軽減するため過疎債の充当を。

農林課長 財政サイドと協議したい。

総務課長 修繕などは難しいが、有利な過疎債であれば、使う方向で検討したい。

町長 過疎債の検討の前に森林税を活用したい。既存の国県補助、そこへ森林税の活用、過疎債の充当など、多面的に整備促進したい。

質問 今後の消防行政組織は

消防課長 職員体制は、派遣職員で町職員12名、市職員22名、組合職員74名。

給与では、派遣職員は市町ごと、組合職員は中野市に準じる体系。

質問 消防職員は、常に危険がともなう職種であり、組合内で同種の業務を行っているにもかかわらず給与体系が異なるのでは、仕事に対するモチベーションの低下に繋がりがかねない。職員体制を統一すべきでは。

町長 関係する皆さんと協議した上でないと、ここで明確にはお答えできない。

質問 ここで結論が出る問題ではないため、岳南広域消防組合協議会議員の3名に委ねたい。

質問 林道管理者と林道台帳による路線数と総延長は。

農林課長 管理者は山ノ内町、路線数は26路線、総延長は約113km。

質問 森林整備計画で基幹路網の整備内容は。

農林課長 町単林道整備に原材料支給・機械借上げ料を充当し、11路線の林道整備を行う予定。

質問 11路線は、原材料支給や機械借上げ料充当でなく、町単林道整備事業で行

国道403号本郷地籍の特に冬季における渋滞解消を

布施谷 裕 泉



応じていきたい。道路改良については裏落合まで来年には開通するので、今度はこちらに本腰を入りたい。

子どもの貧困対策

子どもの「相対的貧困率」が過去最悪の16・3%になるなど、子どもの貧困が大きな問題となつてきている。当町ではどの様に認識されているか。

子どもの貧困対策

一人親家庭を中心に、家庭訪問や民生児童委員を通じて情報収集に努めている。

その他の質問

保育環境の改善について

「信州型自然保育」の取り組みについて

新幹線二次交通の推進

町長 看板の設置については、県とも早急に相談し対応

建設水道課長 観光面としてまた地域の生活道路としても重要と認識している。

質問 大型車の穂波大橋上条線への迂回で、渋滞はか

なり解消されるはず。誘導看板の設置を県に依頼すべきでは。

質問 この区間での事故が直近3年間で21件も記録さ

れている。これは大きな問題。安全性確保と渋滞解消は喫緊の課題であると考え

るが。

質問 セブンイレブン夜間

瀬店から夜間瀬橋手前三叉路までの区間で、冬の渋滞

が恒常化している。原因は

建設水道課長 圧雪で大型

バス同士のすれ違いがスムーズにできなくなつてしま

うことなどが原因。



国道403号本郷地籍
大型車迂回で冬の渋滞解消を

議会活性化を諮問

— 議員報酬・子ども議会など —

6月24日に小淵議長から高田議長に諮問がありました。住民の皆様身近な議会を感じてもらえるよう、早急に検討していきます。

山ノ内町議会議長 小淵 茂昭

議会運営委員長 高田 佳久 様

議会の活性化について（諮問）

6月1日第17代山ノ内町議会が定数削減によって14人の議員でスタートをしました。

ところで、本年当町で実施されました町議会議員選挙をはじめとした各選挙においては、県議会議員選挙を除き無投票の結果となり、あらためて住民の関心の低さが浮き彫りとなりました。このことは当議会としても真摯に受け止めるべきであります。そこで議会としては多様な民意を吸収し、それを集約し、自主性のある議会構築を進めなければなりません。全国的に関心が高まっている議会の活性化については、当議会も第15・16代の8年間に議会報告会の開催をはじめとした様々な活性化の取り組みを進めてきましたが継続検討を要する課題が残されております。

つきましては、「開かれた議会」「住民が主人公の議会」の観点から、前議会に引き続き早期にこれらの諸課題並びに議会活性化について協議検討賜りたく、地方自治法第109条第3項第3号の規定によって、調査し方向性を見出していだきたく下記のとおり諮問します。

記

- 1 諮問事項
 - (1) 活性化研究会のあり方について
 - (2) 議員報酬について
 - (3) クリーン選挙について
 - (4) 議会報告会のあり方について
 - (5) 子ども議会について
 - (6) 先例集の見直しについて
 - (7) その他議会活性化事項について
- 2 答申期限

平成28年3月末までに（但し、(2)(4)及び(5)については優先して早急に答申願います。）

全員協議会

第5回（6月1日）

- 志賀高原ユネスコエコパーク組織体制等
- J A 役場公金窓口業務の時間変更

第7回（6月29日）

- 一般会計補正予算第2号の負担金
- 県立須坂病院新棟建設への負担金
- 八ヶ郷土地改良区大沼池取水隧道改良工事

第4回（6月12日）

- 議員が担当する役職
- 議員報酬の削減
- 議会会議規則・傍聴規則の一部改正

議員協議会

第5回（6月29日）

- 議長の諮問事項
- 議会議員協議会のあり方

社会文教常任委員会

6月23日（火）に7か所の視察を行いました。内、2か所の特別養護老人ホームの報告をします。

いで湯の里（山ノ内町佐野）

開所は平成5年11月、北信広域連合により設置。今年で22年目。定員は80人（短期入所は10人）、現在本人所者は定員70人に対し69人が入所しています。このうち要介護度4～5の人が66人です。また、部屋数は22で

すが内18室が4人室、残り2人室です。2人室には介護度の低い人が入っています。職員数は60人です。正規は25人、他は嘱託・臨

時・派遣です。

〈質問と応答〉

質問 緊急時の地域協力隊とは。

答え 開所と同時に

に結成され、南部協議会の5区長会の会長が隊長である。40人ほどが集まる体制。

質問 非常時の訓練内容は。

答え 消火器の扱

高社寮（中野市西条）



寝たまま入れるシャワー浴の設備（高社寮）

寮は福祉避難所ともなっています（災害時には要介護者の避難を率先して受け入れる施設）。

〈質問と応答〉

質問 水害が出たらどうするのか。

答え 土地の位置が他より高いので想定していない。

質問 風呂場に脱衣所はできたか。

答え 検討中である。

質問 正規職員の中で在籍と勤務の違いは。

答え 正規職員の中で産休などの人が、在籍だが勤務中でないことを意味する。

その他視察箇所

○学校給食センター改修工事

○東山クリーンセンター

○最終処分場（大俣）

○斎場建設地（豊津）

○豊田衛生センター

管内視察報告

評価



いで湯の里で説明を受ける

ブルックに軽トラ、い、質問 有資格職員の現状は。答え 正規はほとんどが介護福祉士。

高社寮は昭和56年開所、特別養護老人ホームと養護老人ホームが併設されています。特養については入所定員70人であり、現在定員数に達しています（山ノ内からは18人）。要介護度4以上の人が70人中56人となっています。職員数は47人現在入所を申し込み待機中の人は132人（中野68飯山31山ノ内11など）でかなり厳しいです。なお、入所者の負担月額平均50,495円。最高額で82,270円です。また、高社



中野市豊津に建設中の新斎場
工期は平成28年6月末日まで

総務産業常任委員会



橋脚が補修され、橋そのものが長寿命化された（渋湯橋）

常任委員会 現状と

6月22日（月）に管内の視察研修を行いました。今回は11か所見て回りました。

上林テニスコート

人工芝に砂を入れたオムニコートに改修され、クッション性も高く、足に優しいテニスコートになりました。夏の照り返しも和らげる効果もあるので、是非多くの皆さんに使っていただきたいと感じました。

渋湯橋

町内の橋は老朽化してい

るところが多く、今回、昭和40年建設の渋湯橋の長寿命化工事を視察しました。今後順次このような形で、橋梁が補修されていきます。高度成長期に整備されたインフラの改修時期が集中してくるので、財政的にも長期的な視野で考えていくべきだと感じました。

世界平和観音

看板・サイン整備の状況を視察しました。貴重な名所ですので、案内は明確にしたいものです。今回、案内看板などを順次刷新していくこととなり、一部は外国人にも対応した表記になっていました。大悲殿の役員さんからは集客が年々減ってきたという話をうかがい、今後の活性化の必要性を感じました。平和遺産としてさらなる活用を考えていきたいものです。



今回の設備投資は総額5億2千万円（JA夜間瀬共選所）

情報物産館道の駅

新たに屋外販売ブースを作り、雪室で保存したフルーツを使った雪室かき氷などの販売を行います。今、道の駅はお客様の入り込みも良いので、さらなる売上アップにつながることであり、一つの集客場所として町内への流入増も期待をしたいところです。道の駅の店長からは、人手が足りないということ、職員を募集していました。短時間勤務でも可能とのことでした。

JA夜間瀬共選所

新たに導入された選果機を視察しました。最新鋭の選果機に目を見はりました。その規模と同時に自動で仕分けするシステムや段ボール箱まで移動して自動化しているのには、圧倒されました。町からの2千万円の支援もあり、その効果を期待したいものです。

北部分団消防詰所

ここでは、今年1月最新式の自動車が増設省から無



北部分団に配備された新型ポンプ自動車

その他視察箇所

- 災害防災無線デジタル化
 - 南部浄水場改修
 - 宇木26年2月豪雪ハウス倒壊復旧状況
 - 国道403号裏落合工区事業進捗状況
- 賃貸与され、詰所車庫の増築工事となりました。車両はレスキュー隊対応なので、普段消防団としては持っていない道具まで備わっていました。一朝有事の対応にも頼もしい装備です。

みなぞつがらの 請願・陳情

6月議会では下表の請願・陳情を審査・審議しました。

陳情第5号「戦争法」制定に反対する陳情については、総務産業・社会文教両常任委員会による連合審査がおこなわれました。付託を受けていた総務産業常任委員会は、「戦争法」という表記が適切ではないことなどにより不採択としました。本会議ではこの決定に対して採決が行われ、賛成者12人、反対者1人(布施谷裕泉)で不採択としました。

しかしこれまで当議会として、集団的自衛権に係る閣議決定の撤回など、平和行政の推進を一貫して国に求めてきていることから、今議会においても同様の意見書が総務産業常任委員会から議案として提出されました。採決の結果、賛成多数で可決し、意見書送付としました。反対者は1人(望月貞明)

受理番号	件名	請願・陳情者	採決結果
請願第1号	国の責任による35人学級の推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願書	山ノ内町教職員組合 執行委員長 大塚伸司	採択 意見書提出
請願第2号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願書	山ノ内町教職員組合 執行委員長 大塚伸司	採択 意見書提出
陳情第4号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	中高地区労働組合連合会 議長 畔上稔男	採択 意見書提出
陳情第5号	「戦争法」制定に反対する陳情	北信地区憲法を守る会 会長 涌井純生	不採択 下記意見書提出
陳情第6号	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書提出の採択を求める陳情	日本労働組合総連合会長野県連合会高水地域協議会 議長 小林君男 他1名	採択 意見書提出

発委第6号 「国民的合意の無いままに安全保障関連法案の制定をおこなわないことを求める意見書」の提出について

反対討論

望月 貞明

日本周辺の安保環境は厳しさを増している。日本の防衛は自衛隊と日米同盟に基づき米軍が行う。日本周辺を警護する米艦が公海上で敵に攻撃されても、現行法で自衛隊は反撃できない。万一このような事態になれば日米同盟の維持は困難になる。憲法の下、

賛成討論

渡辺 正男

22日の世論調査で、安全保障関連法案に賛成は27・8%、反対は58・7%。今国会での

自衛の措置の高三要件を満たせば、米艦を防護できる。すき間のない万全の法整備が日米同盟を安定化させ、紛争を未然に防ぐ抑止力を高める。

成立に賛成が26・2%、反対が63・1%。「憲法違反と思う」が56・7%。国民的合意は得られていない。逆に懸念はますます広がっている。当議会の機関意思は一貫して解釈改憲反対、集団的自衛権行使は容認せずの立場だ。閣議決定撤回と今国会での法制定断念を求める本意見書案は妥当であり、賛成する。

国民的合意の無いままに安全保障関連法案の制定をおこなわないことを求める意見書

今国会においては、政府の憲法解釈の変更に基づく安全保障関連法案が審議されています。

集団的自衛権について、これまで歴代の政府は、「国際法上、当然に集団的自衛権を有しているが、これを行使して、我が国が直接攻撃されていないにもかかわらず他国に加えられた武力攻撃を実力で阻止することは、憲法第9条のもとで許容される実力の行使の範囲を超えるものであり、許されない。」としてきました。

日本国憲法は、その前文で「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにする。」ことをうたい、第9条で戦争を放棄し、戦力の不保持、交戦権否認を定めた平和主義を基本原則としています。今国会で審議中の安全保障関連法案は、憲法に反するという意見が多くあります。

専守防衛に徹するとした我が国のあり方を大きく左右する重要な問題であり、国民へ十分かつ丁寧な説明責任を果たし、慎重な審議を求める多くの国民の声に応じて今国会での成立ではなく、時間をかけて慎重に審議すべきです。

したがって、国におかれては、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を撤回し、国民的合意の無いままに安全保障関連法案の制定をおこなわないことを強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成27年6月 日

衆議院議長様 法務大臣様
参議院議長様 外務大臣様
内閣総理大臣様 防衛大臣様
内閣官房長官様

長野県山ノ内町議会議長 小淵 茂昭

新議員紹介 初議会を終えて

新議員に次の質問をしました。

- ① 町政への抱負
- ② 初議会の感想
- ③ 明日の山ノ内町への提言

小林民夫 議員

①この地においてのみ営むことを大前提とする農業と観光は一所懸命の産業である。政治の姿勢によつて存立の基盤が大きく左右される宿命を持つ。とにもかくにもこの両産業の将来像を設定したい。そして、その目標に近づけるように皆と力を合わせたい。

②議長のと側に町の幹部職員がずらりと並び壮観でした。これに対する13人の議員の最前列にて存在感の



左から小林民夫議員・山本光俊議員・湯本晴彦議員

の重要度の高さや量の多さに驚き、責任の重さを実感しました。就任前の想像と実務との差を埋めるべく勉強し、活動の中で如何に皆様の意見を反映していくかなど、努力しなければならぬと感じました。

③当町の基幹産業である観光・農業の潜在能力を今以上に磨き、発信力を高めトップブランドまで押し上げたい。そのための基盤整備が今は急務だと考えます。

山本光俊 議員

軽さを味わいました。

③農業と観光のそれぞれを丁寧に見つめて、これらと思うものを見出して一流の域に達するまで磨き上げ高めてゆく、地道な精進が必要であろうと思っています。

①基幹産業である観光と農業の活性化を図り、志賀高原ユネスコエコパークにおけるツーリズム・農産物などを日本のトップブランドとして確立したい。

②多岐にわたる業務内容そ



初議会には多くの皆様に傍聴いただきました

湯本晴彦 議員

①議員として町政に対し、批判で終わるのではなく、確固たる信念のもと、提案のできる議員を目指していきたいと思っています。

②一般質問は緊張しましたが、自分自身の思いを投げかけることができたと思っています。まだまだ知らないことも多いので、これから一生懸命勉強していきたいと思っています。

③国際的な町、環境教育での最先端を行く町として、観光・農業・教育を融合した新たな町づくりとそれを推進する人づくり。

編集後記

第17代議会始動

4月に行われた町議会議員選挙で、無投票ながら選出された我々14人が船出しました。広報常任委員会は、「議会だより」と「議会ホームページ」を通じて議会活動をわかりやすく、みなさまにお届けします。今後とも指導ご協力をお願いいたします。

7月6日朝、日本中のスポーツファンが盛り上がりました。「なでしこジャパン」が女子サッカーワールドカップで2大会連続の決勝進出を果たしました。前大会は見事優勝でしたが今大会は惜しくも準優勝でした、し



広報常任委員会新メンバー

かしその栄誉は称賛に値するものです。なかでも、澤穂希選手は37歳という年齢で6大会連続出場の大快挙です。主力控えの全23選手を投入した今大会は、仲間の「絆」と「最後まであきらめない気持ち」が際立った大会で、多くの国民がそのプレーに一喜一憂し、感動と勇気をもらいました。

我々「チーム山ノ内町議会」も団結力と粘り強い気持ちで、町民のみなさんの付託に応えるように活動していかねばならないと一層強く感じました。次第です。(高山祐一 記)

